

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【名桜大学】

<教育課程審査>

- ① 「英語音声学」及び「英文法」のシラバスについて、「英語学」のコアカリキュラム「3) 英語の歴史的変遷及び国際共通語としての英語の実態について理解している。」のうち、「国際共通語としての英語」の内容が含まれているかが判然としないため、含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	<p>「英語音声学」については、授業計画の第1回目に「英語の歴史的変遷」、第3回目に「国際共通語としての英語」を追加しております(p005)。</p> <p>「英文法」については、授業の第1回目に「英語の歴史的変遷」、第8回目の授業計画に「国際共通語としての英語」を追加しております(p007)。</p> <p>上記修正に合わせて、シラバスの到達目標及び対応するコアカリキュラムを修正しております(p001、007~008)。</p>
-------	---

- ② 「英米文化概論Ⅰ」及び「英米文化概論Ⅱ」のシラバスについて、「異文化理解」のコアカリキュラム「2) 多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解している。」の内容が含まれているかが判然としないため、含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	<p>「英米文化概論Ⅰ」及び「英米文化概論Ⅱ」の授業計画の第9回目並びに第15回目の授業計画に「外部講師との体験的活動 [多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義を理解する]」を追加しております(p011、014、019~020、024)。</p> <p>また、上記修正に合わせてシラバスの到達目標及び対応するコアカリキュラムを修正しております(p002、009、013、016、022)。</p>
-------	--

- ③「英語科教育法Ⅰ」及び「英語科教育法Ⅱ」のシラバスについて、「英語科の指導法」のコアカリキュラム「(2)13)ALT等とのチーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。」の内容が含まれているかが判然としないため、含まれていることが分かるよう、授業計画において明確化すること。

(対応)→	<p>「英語科教育法Ⅰ」の第9回目及び第10回目の授業計画に「教師の役割（ALTとのチーム・ティーチングに関するディスカッションを含む）」を追加し、シラバスの到達目標も修正しております（p026～027）。</p> <p>また、「英語科教育法Ⅱ」の第8回目及び第9回目の授業計画に「ALT等とのチーム・ティーチングの効果的な指導方法をグループで発表する」を追加しております（p030）。</p> <p>上記の修正に合わせて、対応するコアカリキュラムを修正しております（p003～004）。</p>
-------	--

(記入例)

審査意見(一次審査)への対応を記載した書類

【〇〇大学】

<教育課程審査>

- ① 授業科目「〇〇〇〇」のシラバスについて、〇〇〇など、事項「〇〇〇」に求められる内容を充実させること。

(対応)→	・「〇〇〇〇」のシラバスについて、教職課程コアカリキュラムの1(2)の内容に基づき内容を見直し、〇〇〇について充実させた。(シラバス添付)
-------	---

- ② 授業科目「〇〇基礎論Ⅰ」、「同Ⅱ」の名称について、事項「〇〇〇の指導法」に対応した科目であることが不明瞭であるため、課程認定手引きの科目名称例を参考に、事項の内容を適切に表現した科目名称とすること。

(対応)→	・授業科目の名称を以下の通り修正する。 『〇〇基礎論Ⅰ』→『〇〇の指導法Ⅰ』 『〇〇基礎論Ⅱ』→『〇〇の指導法Ⅱ』
-------	---

- ③ 〇〇学科の定員に対し、「教職に関する科目」の担当専任教員の人数が1名不足しているため、補充を行うこと。

(対応)→	・「〇〇〇〇教員」を専任教員として新たに補充した。
-------	---------------------------

※記載欄が足りない場合は、適宜追加をして記載すること。